

1 埼玉工業大学の概要

1. 1 校章の由来

埼玉工業大学の校章の図柄は、徳川家の家紋「三つ葉葵」に「大学」の文字を組み合わせたものである。三つ葉葵が校章の基盤となっている理由は、当智香寺学園にある智香寺が徳川家康公のご生母「於大の方」に縁りの寺院（茶毘の地）であり、その法名が「伝通院殿般若光岳智香大禪定尼」であったためである。なお、「三つ葉葵」の三つの葉には、それぞれに、本学の建学の精神である使命感、人生観、連帯感の三つの理想があらわされている。

1. 2 大学の沿革

明治36年2月 東京商工学校として浅草森下町に創設
明治43年4月 東京高等商工学校と改称
大正11年4月 東京市神田駿河台3丁目2番地に移転
昭和13年4月 商業科を廃止、3ヵ年制の高等工学科を設置し聖橋高等学校と改称
昭和19年3月 財団法人聖橋学園設立
昭和22年4月 新学制により聖橋中学校となる
昭和23年4月 新学制により聖橋高等学校開設（普通科・機械科）
昭和26年3月 学校法人聖橋学園に組織変更
昭和26年9月 東京都荒川区尾久町5丁目871番地の新校舎に移転
昭和32年4月 定時制に商業科併設
昭和36年4月 埼玉県大里郡岡部町大字普濟寺1690番地に聖橋学園埼玉工業高等学校（機械科）を開設
昭和37年2月 聖橋工業高等専門学校設置認可
昭和37年3月 聖橋学園埼玉工業高等学校閉校
昭和37年4月 埼玉県大里郡岡部町普濟寺1690番地に聖橋工業高等専門学校開設
昭和46年3月 聖橋中学校・聖橋高等学校（全日制・定時制）を閉校
昭和48年12月 学校法人聖橋学園を学校法人智香寺学園に改称
昭和50年3月 聖橋工業高等専門学校の学生募集停止を文部省に届出
昭和51年1月 埼玉工業大学、文部省から設置認可
昭和51年4月 埼玉工業大学に工学部を開設 初代学長に工学博士永井芳男就任
（入学定員 機械工学科60名 環境工学科40名 電子工学科40名）
昭和53年4月 埼玉工業大学工学部教職課程の設置（免許教科「高一種工業」）
昭和54年3月 聖橋工業高等専門学校、文部省から廃止認可、閉校
昭和56年4月 埼玉工業大学工学部の学生定員を変更
（入学定員 機械工学科80名 環境工学科80名 電子工学科80名）
昭和58年4月 埼玉工業大学学長に工学博士武藤義一就任
昭和60年3月 埼玉工業大学専門学校、埼玉県から設置認可
昭和60年4月 埼玉工業大学専門学校（情報処理学科・ビジネス学科）開設
平成2年4月 埼玉工業大学工学部期限付き学生定員変更
（機械工学科 環境工学科 電子工学科 入学定員各100名）
平成3年4月 埼玉工業大学学長に理学博士鈴木周一就任
埼玉工業大学科学技術研究所を設置
平成4年4月 埼玉工業大学工学部期限付き学生定員変更
（機械工学科 環境工学科 電子工学科 入学定員各160名）
平成7年7月 埼玉工業大学学長に理学博士竹内正幸就任
平成9年12月 文部省から埼玉工業大学大学院設置認可
平成10年4月 埼玉工業大学大学院工学研究科修士課程開設
（入学定員 システム工学専攻10名 物質科学工学専攻10名）
平成11年4月 埼玉工業大学科学技術研究所を埼玉工業大学先端科学研究所に改組
平成11年4月 先端科学研究所にハイテク・リサーチ・センターを設置
平成11年10月 埼玉工業大学学長に工学博士秋山守 就任
平成11年11月 韓国全北大学校工科大学と学術・学生交流に関する協定を締結
平成12年4月 埼玉工業大学大学院工学研究科博士後期課程開設
（入学定員 システム工学専攻2名 物質科学工学専攻2名）
平成12年4月 埼玉工業大学大学院工学研究科の修士課程を博士前期課程に変更
（入学定員 システム工学専攻10名 物質科学工学専攻10名）

- 平成12年4月 埼玉工業大学工学部学生定員変更
(入学定員 機械工学科120名 環境工学科120名 電子工学科120名)
- 平成12年4月 埼玉工業大学工学部期限付き学生定員変更
(機械工学科 応用化学科 電子工学科 入学定員各152名)
- 平成12年6月 中国鞍山科技大学と学術・学生交流に関する協定を締結
- 平成12年12月 学校法人智香寺学園と学校法人祥苑学園が合併
(埼玉工業大学深谷高等学校を設置する学校に加えた)
- 平成13年3月 埼玉工業大学専門学校閉校
- 平成13年7月 埼玉工業大学専門学校文部科学省より廃止認可
- 平成13年4月 埼玉工業大学工学部期限付き学生定員変更
(機械工学科 応用化学科 電子工学科 入学定員各144名)
- 平成13年4月 工学部応用化学科の教職免許教科を変更(免許教科「高一種理科」)
- 平成13年8月 文科省から埼玉工業大学工学部情報工学科の設置認可
- 平成13年12月 文科省から埼玉工業大学人間社会学部設置認可
- 平成14年4月 埼玉工業大学工学部情報工学科を開設(入学定員 80名)
- 平成14年4月 埼玉工業大学人間社会学部を開設
(情報社会学科 入学定員120名 編入学定員 (2年次)5名 (3年次)20名)
(心理学科 入学定員 80名 編入学定員 (2年次)5名 (3年次)10名)
- 平成14年4月 埼玉工業大学工学部学生定員変更
(機械工学科80名 環境工学科80名 電子工学科80名)
- 平成14年4月 埼玉工業大学工学部期限付学生定員変更
(機械工学科 応用化学科 電子工学科 入学定員各 96名)
- 平成15年4月 埼玉工業大学学長に工学博士永野三郎就任
- 平成15年4月 埼玉工業大学工学部情報工学科に教職課程認定
(免許教科「高一種数学」「高一種情報」)
- 平成15年4月 埼玉工業大学人間社会学部情報社会学科に教職課程認定
(免許教科「高一種公民」「高一種情報」)
- 平成15年4月 埼玉工業大学人間社会学部心理学科に教職課程認定
(免許教科「高一種公民」)
- 平成15年4月 埼玉工業大学工学部期限付学生定員変更
(機械工学科 応用化学科 電子工学科 入学定員各88名)
- 平成15年4月 埼玉工業大学深谷高等学校を正智深谷高等学校に改称
- 平成16年4月 ポーランド日本情報工科大学と学術・学生交流に関する協定を締結
- 平成16年5月 アルマティ工業大学と学術・学生交流に関する協定を締結
- 平成16年5月 埼玉工業大学臨床心理センターを設置
- 平成17年12月 文科省から埼玉工業大学大学院人間社会研究科設置認可
- 平成18年4月 埼玉工業大学大学院人間社会研究科修士課程を開設
(入学定員 情報社会専攻10名 心理学専攻15名)
- 平成19年4月 埼玉工業大学大学院工学研究科博士前期課程を改組
(入学定員 システム工学専攻 6名 電子工学専攻 7名 応用化学専攻 7名)
- 埼玉工業大学工学部を改組
(入学定員 機械工学科 60名 生命環境化学科 80名 情報システム学科 120名
ヒューマン・ロボット学科 60名)
- 平成20年4月 埼玉工業大学人間社会学部学生定員変更
(入学定員 情報社会学科120名 心理学科80名)
- 平成21年4月 埼玉工業大学学生定員変更
(入学定員 工学部 情報システム学科 110名)
(入学定員 人間社会学部 情報社会学科 110名)
- 平成22年4月 埼玉工業大学大学院工学研究科博士後期課程を改組
(入学定員 システム工学専攻 2名 電子工学専攻 2名 応用化学専攻 2名)
- 平成23年4月 埼玉工業大学学長に工学博士内山俊一就任
- 平成23年4月 埼玉工業大学埼玉工業大学工学部を改組
(入学定員 機械工学科 110名 生命環境化学科 80名 情報システム学科 120名)

〔※ 工学部の改組について〕

工学部の学科編成は、平成19年4月から、機械工学科、応用化学科、電子工学科、情報工学科の4学科を機械工学科、生命環境化学科、情報システム学科、ヒューマン・ロボット学科の4学科に改めました。

従来の機械工学科、応用化学科、電子工学科、情報工学科は、平成19年3月31日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとします。

〔 ※ 工学部の改組について 〕

工学部の学科編成は、平成 23 年 4 月から、機械工学科、生命環境化学科、情報システム学科の 3 学科に改めました。ヒューマン・ロボット学科は、平成 23 年 3 月 31 日に当該学科に在学する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとします。

〔 ※ 工学研究科の改組について 〕

埼玉工業大学大学院博士後期課程物質科学工学専攻は、改正後の学則第 4 条の規程にかかわらず、平成 22 年 3 月 31 日に当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなるまでの間、存続するものとします。

1. 3 大学の構成

埼玉工業大学（Saitama Institute of Technology）

1) 大学院工学研究科（Graduate School of Engineering）

【博士前期課程】

システム工学専攻（Department of System Engineering）

電子工学専攻（Department of Electronic Engineering）

応用化学専攻（Department of Applied Chemistry）

【博士後期課程】

平成 22（2010）年度以降の入学者に適用する専攻

システム工学専攻（Department of System Engineering）

電子工学専攻（Department of Electronic Engineering）

応用化学専攻（Department of Applied Chemistry）

平成 21（2009）年度以前の入学者に適用する専攻

システム工学専攻（Department of System Engineering）

物質科学工学専攻（Department of Materials Science and Engineering）

2) 大学院人間社会研究科（Graduate School of Human and Social Studies）

【修士課程】

情報社会専攻（Department of Informational Society Studies）

心理学専攻（Department of Psychology）

3) 工学部（Faculty of Engineering）

平成 23（2011）年度以降の入学者に適用する学科

機械工学科（Department of Mechanical Engineering）

生命環境化学科（Department of Life Science and Green Chemistry）

情報システム学科（Department of Information Systems）

平成 19（2007）年度以降の入学者に適用する学科

機械工学科（Department of Mechanical Engineering）

生命環境化学科（Department of Life Science and Green Chemistry）

情報システム学科（Department of Information Systems）

ヒューマン・ロボット学科（Department of Human-Robotics）

平成 18（2006）年度以前の入学者に適用する学科

機械工学科（Department of Mechanical Engineering）

応用化学科（Department of Applied Chemistry）

電子工学科（Department of Electronic Engineering）

情報工学科（Department of Computer Science）

4) 人間社会学部（Faculty of Human and Social Studies）

情報社会学科（Department of Informational Society Studies）

心理学科 (Department of Psychology)

- 5) 基礎教育センター (Foundation Study Center)
教職課程 (Course for Teaching Profession)
- 6) 先端科学研究所 (Advanced Science Research Laboratory)
ハイテク・リサーチ・センター (High Technology Research Center)
臨床心理センター (Training and Research Center of Clinical Psychology)
- 7) 図書館 (Library)
- 8) 情報基盤センター (Information Technology Center)
- 9) 事務局 (Administration Office)
 - 総務部 (総務課 管財課 会計課)
 - 教学部 (学生課 教務課 就職課)
 - 教育研究協力部 (教育研究協力課 情報技術課 学術情報課)

1. 4 事務局の主な取扱事項

事務局窓口の取扱時間

月曜日～金曜日 9:00～17:00
土曜日 9:00～13:00 (※ 第2及び第4土曜日は休業日です)

事務局の主な取扱事項

① 総務部

総務課 (26号館8F)

- ・学則・諸規程に関すること

管財課 (26号館8F)

- ・施設・設備の管理
- ・スクール・バスの運行

・構内の整備・清掃

会計課 (26号館8F)

- ・学費振込票の交付
- ・学生会・後援会等諸会費の受託収納

・学費の収納・督促

・証明書等手数料収納

② 教学部

学生課 (26号館1F)

- ・学生の相談と健康管理に関すること
- ・学費の延納申請等に関すること
- ・学生食堂及び学内売店に関すること
- ・遺失物・拾得物に関すること
- ・厚生施設・運動施設の利用事務取扱
- ・アルバイト及び下宿・アパート等の情報提供

・各種奨学金と就学貸付等に関すること

・学生の車両通学に関すること

・入学式・卒業式等の行事に関すること

・学生傷害保険に関する事務取扱

・国家試験及び資格のアドバイスと情報提供

- ・学生証・学生割引証・在学証明・通学証明・卒業証明・卒業見込証明・健康診断書の発行

- ・後援会に関すること

教務課 (26号館1F)

- ・授業日程・時間割・試験に関すること
- ・成績及び進級・卒業に関すること
- ・科目等履修生・研究生に関すること

・履修登録に関すること

・教職課程及び教員免許状に関すること

・休学・退学・除籍等の学籍に関すること

- ・成績証明書の発行
就職課 (26 号館 1 F)

- ・就職指導及び相談

- ・就職の紹介・斡旋

③ 教育研究協力部

教育研究協力課 (29 号館 1 F)

- ・先端科学研究所に関すること

情報技術課 (23 号館 1 F)

- ・情報基盤センターに関すること
- ・パソコン実習室 (23 号館) の管理に関すること

- ・メールアドレス及びユーザーアカウントの管理に関すること

学術情報課 (21 号館 1 F)

- ・図書館に関すること

1. 5 学生の書類提出先

① 次の書類は、学生課へ提出して下さい。(※ 届出及び願出書類には印鑑が必要です)

届出及び願出書類	提出期限及び添付書類等	備考
誓約書	入学時	
身上申告書	入学時	様式 1
欠席届	当該日の前後 1 週間以内	様式 2
住所変更届(学生・保証人)	速やかに	様式 3
保証人変更届	速やかに	様式 4
改姓届(学生・保証人)	速やかに、改姓を証明できる書類を添付	様式 5
本籍変更届(学生・保証人)	速やかに	様式 5
合宿届	1 週間前までに提出, 名簿・計画表を添付	様式 6
大会・行事等参加届	1 週間前までに提出, 名簿を添付	様式 7
施設・設備使用許可願	3 日前までに提出 (平日, 時間外, 休日)	様式 8
学内物品使用許可願	1 週間前までに提出	様式 9
学外研修届	1 週間前までに提出, 名簿・計画表を添付	様式 10
学生団体結成願	1 週間前までに提出, 規約: 名簿: 年度活動表を添付	様式 11
学生団体解散届	解散後 1 週間以内に提出, 理由書を添付	様式 12
学内集会届	3 日前までに提出	様式 13
学生団体規約変更届	1 週間前までに提出, 新旧団体規約を添付	様式 14
学外団体加盟許可願	1 週間前までに提出, 加盟団体規約を添付	様式 15
掲示許可願	前日までに提出, 掲示物を添付	様式 16
出版・印刷物配布許可願	前日までに提出, 掲示物を添付	様式 17
車両通学許可願	速やかに, 保険契約書(写)を添付	様式 18
学生納付金延納願	学費納入期限前	様式 19
紛失・盗難・捨得物届	速やかに	様式 20
合宿所施設使用許可願	3 日前までに提出	様式 21
事故報告書	1 週間以内	様式 22
学外練習届	3 日前までに提出	様式 23

② 次の書類は、教務課へ提出して下さい。(※ 届出及び願出書類には印鑑が必要です)

届出及び願出書類	提出期限及び添付書類等	備考
履修登録訂正願	履修の登録期限を過ぎた場合の訂正に使用する	
成績質問カード	指定された成績発表日に提出する	
欠席届	1週間以上欠席，診断書及び理由書を添付	
休学願	2か月以上欠席，診断書及び理由書を添付	
復学願		
退学願	学生証の返却	
転学部又は転学科願		
他大学受験願		
再試験受験願	受験許可者のみ，再試験料1科目3,000円	
追試験受験願	診断書又は事故の証明書等を添付	
他学科他学部科目履修許可願		

1. 6 証明書類の申込先

学生の各種証明書類は、学生課又は教務課へ申し込んで下さい。

証明書類	手数料	申込先	発行日
学生証（再発行の場合）	500円	学生課	翌日発行
在学証明書	300円	自動発行機	即日発行
卒業見込証明書	300円	自動発行機	即日発行
成績証明書（日本語版）	500円	自動発行機	即日発行
成績証明書（英語版）	1,000円	学生課	1週間後
学位記取得証明書（日本語版）	300円	学生課	翌日発行
学位記取得証明書（英語版）	500円	学生課	1週間後
J A B E E修了証明書	300円	学生課	翌日発行
在籍証明書	300円	学生課	翌日発行
健康診断書	300円	自動発行機	即日発行
保険加入証明書	300円	学生課	翌日発行
研究生在学証明書	300円	学生課	翌日発行
学生旅客運賃割引証（学割）	無料	自動発行機	即日発行
通学証明書	無料	学生課	即日発行
仮学生証	無料	学生課	即日発行
車両通学許可証	無料	学生課	即日発行
大学院進学等証明書（調査書）	500円	教務課	5日後
大学院進学等証明書（推薦書）	500円	教務課	5日後
履修状況表（配布期間後に申し込む場合）	100円	教務課	翌日発行
教員免許関係の証明書	無料	教務課	翌日発行
4年生の進学又は就職活動に関する証明書	卒業見込証明書	100円	自動発行機
	成績証明書	100円	自動発行機
	健康診断書	100円	自動発行機

※ 26号館1Fに設置されている証明書自動発行機を利用する場合は、学生証が必要です。